

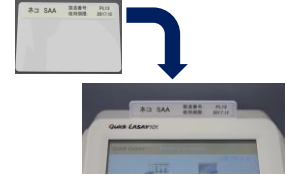

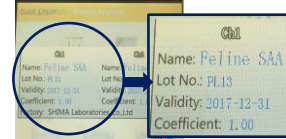

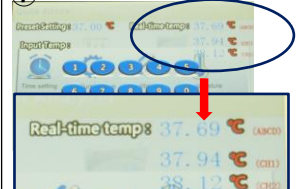
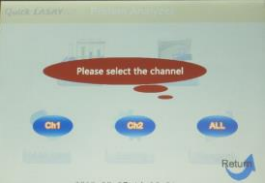
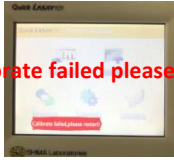


# クイックLASAY 101 装置起動手順

<p>①</p>  <p>背面左上 右側面</p>	<p>装置、プリンタの電源をONにします。</p>
<p>②</p> 	<p>”ピピッ”という音とともに”Please insert the card...”が表示されます。</p>
<p>③</p> 	<p>測定する項目の専用試薬RFカードをカード挿入部に挿入します。</p>
<p>④</p> 	<p>約30秒で「メイン画面」が表示されます。 装置起動完了しました。</p>
<p>⑤</p> 	<p>メイン画面「Reagent」をタップします。 「測定項目確認画面」が表示されます。 使用試薬と「Name、Lot No、使用期限」が一致していることを確認してください。 測定項目を変更する時⇒* 1</p>

<p>⑥</p> 	<p>メイン画面の「Setting」をタップします。 「設定画面」が表示されます。 Temp control:ONであることを確認して下さい。⇒注意1</p>
<p>⑦</p> 	<p>「Temperature」をタップします。 「温度確認画面」が表示されます。 恒温槽部、測定部の温度が37°C±2°Cになっていることを確認してください。⇒注意1 確認後、「メイン画面」に戻してください。</p>


<p><b>*1測定項目変更方法</b></p> <p>■挿入してあるRFカードを抜き メイン画面「Read card」をタップします。 ▼「チャンネル選択画面」が表示されます。 ■変更するCH(ALL)をタップします。 ▼”Please insert the card...”表示されます。</p>  <p>■対応した専用試薬RFカードをカード挿入部に挿入します。</p> <p><b>Check!!</b>測定項目を変更したときは必ず「測定項目確認」を実施してください。 異なる項目の同時測定設定は装置取扱説明書で確認してください。</p>
---

<p>◇ 「トラブルシューティング」</p> <p>★注意1:Temp control:OFF、温度表示がされない測定を中止して、弊社へご連絡ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・装置の電源が入らない 装置の電源が入らないまたは電源ランプが点灯しない場合は、装置ACアダプターと装置電源コードの接続を外し、再度しっかりと接続してください。</li> <li>・プリンタの電源が入らない プリンタの電源が入らない、またはPOWERランプが点灯しない場合は、再度しっかりと接続してください。</li> <li>・装置の起動が完了しない 装置の起動が完了せず、メイン画面に移行しない場合は、RFカードがRFカード挿入部にしっかりと挿入されていない可能性があります。再度RFカードをまっすぐに挿入してください。 ※約1.4cm程度RFカードが装置から出ている状態がしっかりと挿入されている状態です。</li> <li>・プリンタのERRORランプが点灯している プリンタのERRORランプが点灯している場合は、①プリンタカバーが開いたままである可能性があります。”カチッ”と音が鳴るまでしっかりとプリンタカバーをはめ込んでください。 ②プリンタ用紙がセットされていないまたは、プリンタ用紙切れの可能性があります。プリンタ用紙を補充してください。</li> <li>・装置起動時にエラーが表示される 装置の起動時に写真のエラーが表示された場合は、①装置の電源スイッチをOFFにし、再起動をしてください。 ②再起動を数回試したがエラーの表示が再発する場合は、弊社へご連絡ください。</li> </ul> 
--

問い合わせ先  
株式会社シマ研究所 動物検査グループ  
〒174-0063 東京都板橋区前野町1-29-10  
TEL:03(5918)6087 FAX:03(6379)1188

# クイックLASAY 101 測定操作手順


①  検体を測定する時は、メイン画面「Test」をタップします。


②  「測定画面」が表示されます。測定項目が正しいこと Dilute:1、HCT:0.00であることを確認してください。⇒注意2

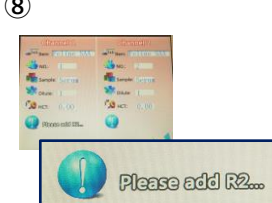
③  冷蔵庫から必要数のプレバックセル、ラテックス試薬を取り出します。  
CRP                      SAA  
プレバックセル (左)、ラテックス試薬 (右)


④  プレバックセルを予備加熱します。冷蔵庫から取り出した場合：**5分**、室温に戻っている場合：**1分** 蓋をしたまま、透明な面を手前に奥まで確実に押し込んでください。その間ラテックス試薬は室温に静置します。

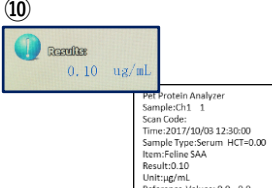
⑤  検体を **5 μL** 採取します。ピペットを垂直に持ち第一ストップまで押し下げて吸引します。チップを検体に深く入れないでください。


⑥  恒温槽に入れたまま、プレバックセルの蓋を外し開口部付近を持ち緩衝液中にピペットチップの先を入れてゆっくり押し出した後、泡立たないように4回ピペティングを行い、確実に検体を添加してください。

⑦  プレバックセルを測定部に挿入します。セルの透明な面を手前にして測定部に奥まで確実に押し込んでください。

⑧  ”ピピッ、ピピッ、ピピッ…”という音とともに”ラテックス試薬 (R2) 添加指示が表示されます。⇒注意3  
ラテックス試薬のボトルが冷たいと感じたら手のひらで温め、軽く混和して使用して下さい。

⑨  ラテックス試薬(R2)を**200 μL** 添加します。ブザーが止まり、「Testing」に移行します。プレバックセルを測定部に挿入したまま、プレバックセル内の液面に向けて一気に添加し、試薬がプレバックセルの壁面に付着しないようにしてください。⇒注意4

⑩  “ピッ”という音とともに、測定結果が画面表示され、同時にプリントアウトされます(プリンタ接続の時)  
PPI Protein Analyzer  
Sample: CH1 1  
Scan Code:  
Time: 2017/10/03 12:30:00  
Sample Type: Serum HCT=0.00  
Item: Peline SAA  
Result: 0.10  
Unit: ug/mL  
Reference Values: 0.0~0.0

⑪  プレバックセルを測定部から1本ずつ引き抜いてください。測定部開閉スライド扉を閉め、「メイン画面」に戻してから装置、プリンタの電源スイッチをOFFにします。

◇ **トラブルシューティング**  
**★注意2:** Dilute:1、HCT:0.00以外の数字が表示  
数字を1、0.00に変更してください。変更出来ないときは弊社へご連絡ください。  
**★注意3:** R2の添加指示が出ず、Testingに移行したセルを抜き、再度測定部に奥まで確実に押し込んでください。  
同じことが再度起こったときは、新しいプレバックセルで最初から測定を実施してください。  
**★注意4:** R2を添加してもブザー鳴りやまないセルが十分押し込まれていない場合があります。奥まで確実に押し込んでください。  
それでも、ブザーが鳴りやまない場合は、新しいプレバックセルで最初から測定を実施してください。

・画面がフリーズした  
装置の電源をOFFにし、再起動してください。

◇ **注意事項**  
 ・使い終わったラテックス試薬は、すぐに冷蔵庫に戻してください。  
 ・プレバックセルのアルミ袋の口はしっかりしめてください。  
 ・プレバックセルを取り扱う際は、透明部分には触れないでください。

測定項目	イヌCRP	ネコSAA
プレバックセルの蓋の色	青	紫
測定対象検体種	イヌ血清、血漿	ネコ血清、ヘパリン血漿
測定レンジ	0.2~20mg/dL	3.75~150 μg/mL
参考基準値	1.0mg/dL以下	6.0 μg/mL以下